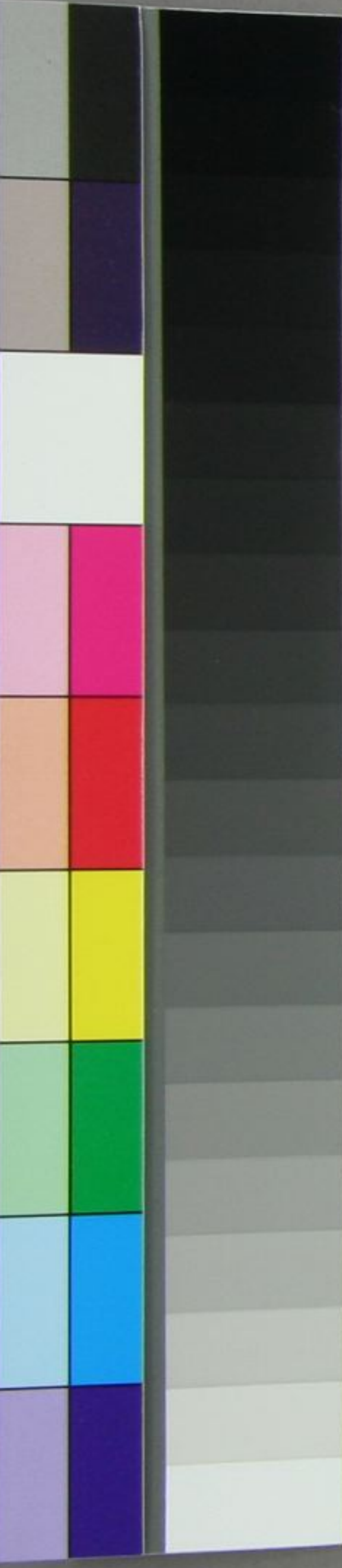


一子思ふに子や露月とあるは文古皆と兼  
す物と後嫌然と然と事と遠野珍重を何私  
にりと違者も打暮居たりや也皆古兼とを分  
敷と致しおお後と無沙汰子打過也右  
五種とすを顧れは山立後あや半年と兼  
日月の速いあるまはれ友致すなり

毎夜尚主書あり送る日記と兼りるらば  
家談一冊第一と名を情も兼り居り殊に  
義夫事 朝夕兼上 厚くは教育も兼り居  
り由難有る存り長く浪人暮り成り手狭き  
家子生れ一切禮儀作法も心得ざる暇向者  
古書より口ば古遠慮をく直りて下将来一  
方の人物と兼本る標古比向を友古同標  
ま致せし

泊野園下より直仕他と兼り何ある十日の大白  
木唐の定よりと賑々安事と兼かす祝や居り  
民党勝利の向も兼りて将来兼りて多化と存  
りり心は上元と兼りて保美居りて地





幸り珠を感ずたつハ曾て聞きし勝り人々ウ特  
き事トモきし初ハ務大匠ロシ然リ候ハ孝正  
政法家トモ曰本ハ先づ年採ヲ申テ取ハ  
ども竟ハハ仕事政治家ト申度ト珠ヲグ  
大トシ武ノ如クハ七年お七十七才オシ  
来六年向ハ冬夏を向テ今國を演説  
昨年ハ十三才オシ又九才オリ今者ハ  
海居ト出度ト常ノ深更ト帰也ト廣ク  
西居ト由夫妻共ニ八十餘ト此年ハ  
元氣無ク地ト珍ラ事ト成  
政治家ト最モ健康ト成ラ成ト  
今更ニ層感ト申テ折角ト攝生切  
ト申  
南洋及ハ可智ト私ノ久交ノ洋行ト  
ある企ト申セバ河を背テ陣取  
古ノ軍法ト擬ル次才ト申セバ  
歸在ノ年月ト兵糧ト申セバ  
短カト来年一杯歸在際ト



了此集感其未竟而主事也  
了此集感其未竟而主事也  
了此集感其未竟而主事也

敬子年来在途守白也定其  
敬子年来在途守白也定其  
敬子年来在途守白也定其  
行也明春歸也  
無此也兄  
其也如子也

廿六年  
十月廿二日

町田忠清

大隈伯爵夫人殿  
下

再白伯爵閣下  
再白伯爵閣下  
再白伯爵閣下  
且敬以厚意  
且敬以厚意  
且敬以厚意